

平成 25 年度 転入・転出者アンケート最終報告

H26 年 9 月

総合政策部 政策企画課

1. はじめに

本市の人口は平成 12 年 2 月をピークに減少が続いています。

そのため、転出入者に対するアンケート調査を実施することにより、現状を把握し、人口減少対策や今後の施策展開を図るうえでの参考資料として活用することを目的とするものです。

2. 調査概要

(1) 調査内容

転入・転出の要因分析を行うため、次のような設問項目とした。

1. 転居者の属性（年齢、家族構成、転居前後の住所）
2. 転居の理由（最も大きなきっかけ、選択理由）
3. その他（転居先以外の候補地、転居する際の情報源、自由意見）

(2) 調査方法

市民窓口課窓口にて転入・転出を届け出る際に、アンケート用紙を配布し、カウンターに設置しているアンケート回収箱に投函していただく。

(4) 調査期間

平成 25 年 6 月から平成 26 年 3 月末まで

3. アンケート回収状況

この「平成 25 年度 転入・転出者アンケート調査最終報告」は、平成 25 年 6 月～平成 26 年 3 月末に回収した調査結果を集計したものです。

回収年月	転入者	転出者	回収年月	転入者	転出者
平成 25 年 6 月	61	61	平成 25 年 11 月	20	31
平成 25 年 7 月	45	49	平成 25 年 12 月	27	25
平成 25 年 8 月	53	57	平成 26 年 1 月	18	23
平成 25 年 9 月	30	48	平成 26 年 2 月	22	24
平成 25 年 10 月	43	53	平成 26 年 3 月	38	48
			計	357	419

4. 調査結果の分析

(1) 属性

①年齢

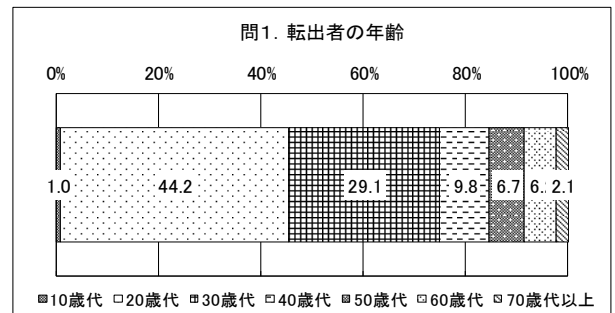
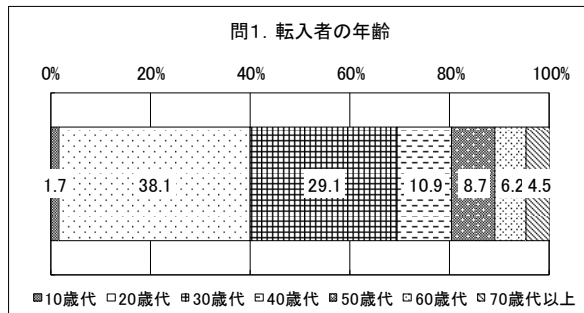
●転入・転出とも「20歳代」が最も多い。

転入者の年齢は、「20歳代」が38.1%と最も多く、次いで「30歳代」が29.1%となり、合わせると約7割を占めている。続いて、「40歳代」が10.9%、「50歳代」が8.7%となっている。

一方、転出者の年齢は、「20歳代」が44.2%と最も多く、次いで「30歳代」が29.1%となり、合わせると約7割を占めている。続いて、「40歳代」が9.8%、「50歳代」が6.7%となっている。

<転入者アンケート>

<転出者アンケート>



②家族構成

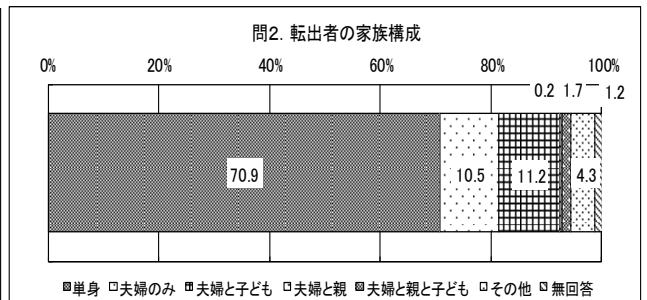
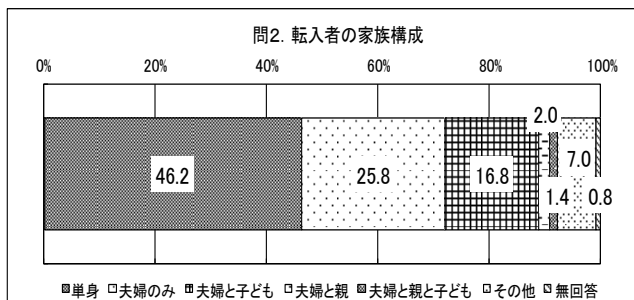
●転入・転出とも「単身」が最も多い。

転入者の家族構成は、「単身」が46.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が25.8%、「夫婦と子ども」が16.8%となっている。

一方、転出者の家族構成は、「単身」が70.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が10.5%、「夫婦と子ども」が11.2%となっている。

<転入者アンケート>

<転出者アンケート>



③転入元・転出先の都道府県・市町村

●転入・転出とも「堺市」が最も多い。

転入者の転入元の市町村は、「堺市」が55件と最も多く、次いで「富田林市」が46件、「大阪市」が41件、「大阪狭山市」が20件となっている。

一方、転出者の転出先の市町村は、「堺市」が81件と最も多く、次いで「大阪市」が60件、「富田林市」が36件、「大阪狭山市」が29件となっている。

<転入者アンケート>

問3. 転入元の住所					
都道府県	件数	割合	市町村	件数	割合
大阪府	237	66.4%	堺市	55	15.4%
			富田林市	46	12.9%
			大阪市	41	11.5%
			大阪狭山市	20	5.6%
			和泉市	11	3.1%
兵庫県	15	4.2%	神戸市	5	1.4%
和歌山県	13	3.6%	橋本市	6	1.7%
奈良県	11	3.1%			
京都府	8	2.2%	京都市	4	1.1%
海外	7	2.0%			
その他	62	17.4%			
無回答	4	1.1%			
合計	357	100.0%			

<転出者アンケート>

問4. 転出先の住所					
都道府県	件数	割合	市町村	件数	割合
大阪府	283	67.5%	堺市	81	19.3%
			大阪市	60	14.3%
			富田林市	36	8.6%
			大阪狭山市	29	6.9%
			和泉市	10	2.4%
兵庫県	22	5.3%	東大阪市	6	1.4%
東京都	21	5.0%			
和歌山県	12	2.9%	橋本市	5	1.2%
京都府	10	2.4%	京都市	7	1.7%
海外	6	1.4%			
その他	65	15.5%			
合計	419	100.0%			

※主な市名を記載

④転入先・転出元の住所

●転入先は「木戸町」が最も多く、転出元は「南花台」が最も多い。

転入者の転入先は、「木戸町」が21件と最も多く、次いで「南花台」が20件、「小塩町」が18件、「小山田町」が16件となっている。

一方、転出者の転出元は「南花台」が45件と最も多く、次いで「美加の台」が30件、「清見台」「木戸町」が21件となっている。

<転入者アンケート>

問4. 転入先の住		
町名	件数	割合
木戸町	21	5.9%
南花台	20	5.6%
小塩町	18	5.0%
小山田町	16	4.5%
市町	15	4.2%
美加の台	13	3.6%
中片添町	12	3.4%
木戸西町	11	3.1%
汐ノ宮町	11	3.1%
向野町	11	3.1%
その他	203	56.8%
無回答	6	1.7%
合計	357	100.0%

<転出者アンケート>

問3. 転出元の住		
町名	件数	割合
南花台	45	10.7%
美加の台	30	7.2%
清見台	21	5.0%
木戸町	21	5.0%
小山田町	13	3.1%
木戸東町	13	3.1%
向野町	13	3.1%
中片添町	12	2.9%
栄町	11	2.6%
木戸西町	9	2.1%
その他	227	54.2%
無回答	4	1.0%
合計	419	100.0%

※上位10件の町名を記載

(2) 転居の理由

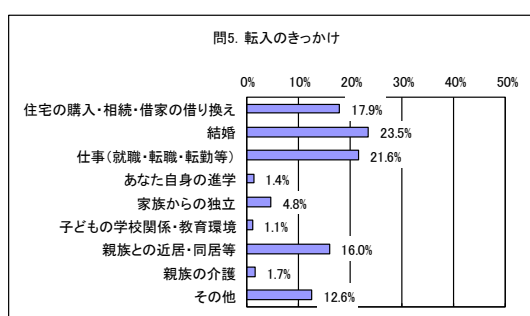
① 転居することになった最も大きなきっかけ

<転入>

1. 全体

● 転入するきっかけは、「結婚」が最も多い。

転入者の転入のきっかけは、「結婚」が 23.5%と最も多く、次いで「仕事（就職・転職・転勤等）」が 21.6%、「住宅の購入・相続・借家の借り換え」が 17.9%、「親族との近居・同居等」が 16.0%となっている。



その他：自身の療養、海外から帰国、離婚等

2. 年齢別

● 「20～30 歳代」のきっかけは、「結婚」が最も多い。

「20～30 歳代」の転入者のきっかけは、「結婚」が 31.3%と最も多く、次いで「仕事（就職・転職・転勤等）」が 24.2%となっている。

● 「40～50 歳代」のきっかけは、「住宅の購入・相続・借家の借り換え」が最も多い。

「40～50 歳代」の転入者のきっかけは、「住宅の購入・相続・借家の借り換え」が 27.1%と最も多く、次いで「仕事（就職・転職・転勤等）」が 20.0%となっている。

● 「60 歳代以上」のきっかけは、「親族との近居・同居等」が最も多い。

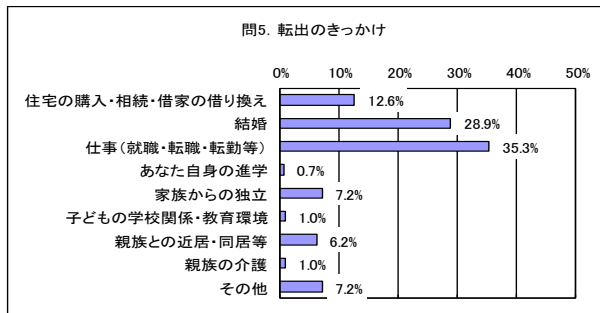
「60 歳代以上」の転入者のきっかけは、「親族との近居・同居等」が 43.3%と最も多く、次いで「住宅の購入・相続・借家の借り換え」が 26.7%となっている。

<転出>

1. 全体

●転出するきっかけは、「仕事」が最も多い。

転出者の転出のきっかけは、「仕事（就職・転職・転勤等）」が35.3%と最も多く、次いで「結婚」が28.9%、「住宅の購入・相続・借家の借り換え」が12.6%となっている。



その他：長期の出国、経済的理由、離婚、出産等

2. 年齢別

●「20～30 歳代」のきっかけは、「仕事」が最も多い。

「20～30 歳代」の転出者のきっかけは、「仕事（就職・転職・転勤等）」が38.8%と最も多く、次いで「結婚」が36.8%となっている。

●「40～50 歳代」のきっかけは、「仕事」が最も多い。

「40～50 歳代」の転出者のきっかけは、「仕事（就職・転職・転勤等）」が34.8%と最も多く、次いで「住宅の購入・相続・借家の借り換え」が23.2%となっている。

●「60 歳代以上」のきっかけは、「住宅の購入・相続・借家の借り換え」が最も多い。

「60 歳代以上」の転出者のきっかけは、「住宅の購入・相続・借家の借り換え」が25.7%と最も多く、次いで「親族との近居・同居等」が17.1%となっている。

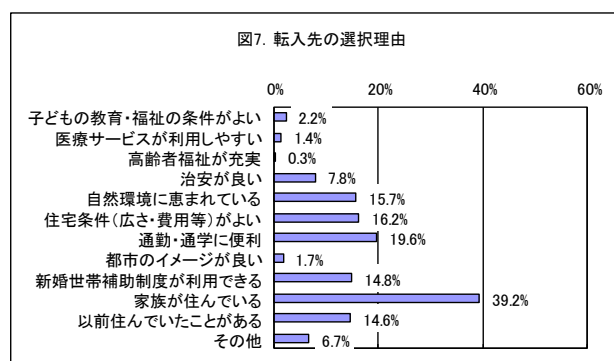
②転居先の選択理由

<転入>

1. 全体

- 転入先を選択した理由は、「家族が住んでいる」が最も多い。

転入者が本市を選択した理由は、「家族が住んでいる」が39.2%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利」が19.6%、「住宅条件（広さ・費用等）がよい」が16.2%、「自然環境に恵まれている」が15.7%、「新婚世帯補助制度利用」が14.8%、「以前住んでいたことがある」が14.6%となっている。



その他：実家に近いため等

2. 年齢別

- 「20～30 歳代」の選択理由は、「家族が住んでいる」が最も多い。

「20～30 歳代」が本市を選択した理由は、「家族が住んでいる」が37.1%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利」が23.8%となっている。

- 「40～50 歳代」の選択理由は、「家族が住んでいる」が最も多い。

「40～50 歳代」が本市を選択した理由は、「家族が住んでいる」が41.4%と最も多く、次いで「住宅条件（広さ・費用等）がよい」が24.3%となっている。

- 「60 歳代以上」の選択理由は、「家族が住んでいる」が最も多い。

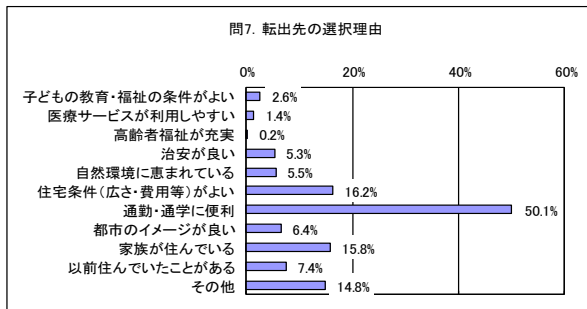
「60 歳代以上」が本市を選択した理由は、「家族が住んでいる」が53.3%と最も多く、次いで「自然に恵まれている」が30.0%、「住宅条件（広さ・費用等）がよい」「以前住んでいたことがある」が23.3%となっている。

<転出>

1. 全体

- 転出先を選択した理由は、「通勤・通学に便利」が最も多い。

転出者が転出先を選択した理由は、「通勤・通学に便利」が50.1%と最も多く、次いで「住宅条件（広さ・費用等）がよい」が16.2%、「家族が住んでいる」が15.8%となっている。



その他：買物が便利等

2. 年齢別

- 「20～30 歳代」の選択理由は、「通勤・通学に便利」が最も多い。

「20～30 歳代」が転出先を選択した理由は、「通勤・通学に便利」が55.0%と最も多く、次いで「住宅条件（広さ・費用等）がよい」が15.6%となっている。

- 「40～50 歳代」の選択理由は、「通勤・通学に便利」が最も多い。

「40～50 歳代」が転出先を選択した理由は、「通勤・通学に便利」が47.8%と最も多く、次いで「家族が住んでいる」が26.1%、「住宅条件（広さ・費用等）がよい」が17.4%となっている。

- 「60 歳代以上」の選択理由は、「住宅条件がよい」「家族が住んでいる」が最も多い。

「60 歳代以上」が転出先を選択した理由は、「家族が住んでいる」が22.9%と最も多く、次いで「住宅条件（広さ・費用等）がよい」が20.0%、「自然に恵まれている」「通勤・通学に便利」が11.4%となっている。

(3) その他

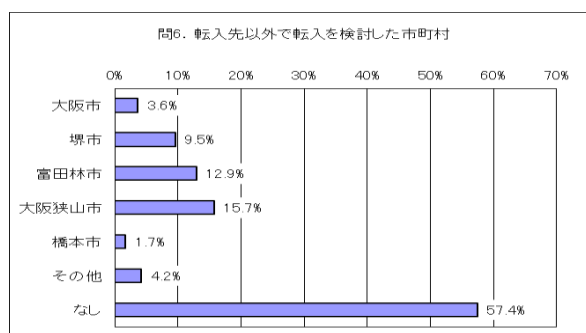
① 転居先以外で転入・転出を検討した市町村 (資料集 P.9)

● 転入者・転出者とも「なし」が最も多い。

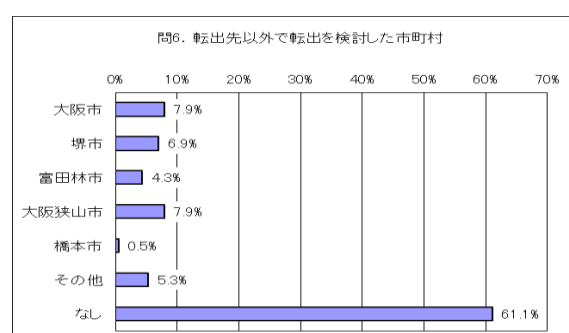
転入者が転居先以外で転入を検討した市町村は、「なし」が 57.4%と最も多く、次いで「大阪狭山市」が 15.7%、「富田林市」が 12.9%となっている。

一方、転出者が転居先以外で転出を検討した市町村は、「なし」が 61.1%と最も多く、次いで「大阪市」「大阪狭山市」が 7.9%、「堺市」が 6.9%となっている。

< 転入者アンケート >



< 転出者アンケート >



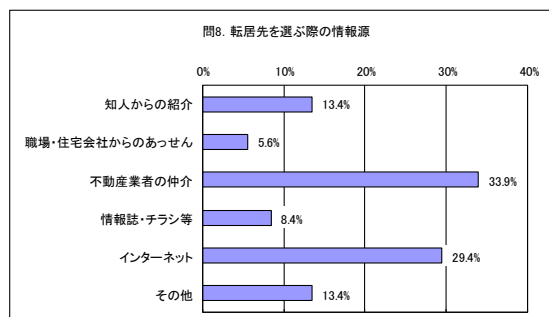
② 転居先を選ぶ際の情報源

● 転入者・転出者とも「不動産業者の仲介」「インターネット」が多い。

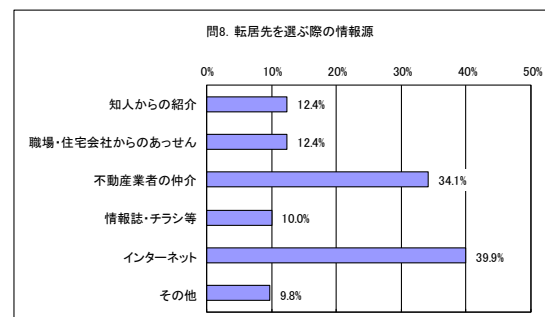
転入者が転居先を選ぶ際の情報源は、「不動産業者の仲介」が 33.9%と最も多く、次いで「インターネット」が 29.4%となっている。

一方、転出者が転居先を選ぶ際の情報源は、「インターネット」が 39.9%と最も多く、次いで「不動産業者の仲介」が 34.1%となっている。

< 転入者アンケート >



< 転出者アンケート >



③本市への意見・要望（自由意見）

<転入者アンケート>

- ・河内長野へ行きたいと思えるような活気あふれるまちづくりをしてほしい
- ・老人にやさしい、住みやすい、元気のでるまちにしてほしい
- ・環境が良く住みやすいまちということをもっとアピールすべき
- ・公共交通を充実してほしい（バスの本数増便、三日市町駅発の本数増便、千代田駅に準急が停まるように）
- ・子育てをしやすいまちにしてほしい（待機児童の解消、医療費助成を中学生まで）
- ・公立保育園を増やしてほしい
- ・福祉の充実、若い人の住みよいまちづくりをしてほしい
- ・大型ショッピングセンターなどを誘致してほしい、高速道路を整備してほしい
- ・商店街を活性化させてほしい
- ・高齢者、若者の就労を支援してほしい
- ・公園を充実してほしい（ドックラン、スケートパーク）
- ・住民票や印鑑証明などの自動交付機を整備してほしい
- ・「もったいない市」などの今の实情にあった政策を進めてほしい
- ・新婚世帯補助制度を延長してほしい
- ・ゴミシールを無くしてほしい、ゴミ出しの時間が早い
- ・駅前での喫煙が目立つ、喫煙スペースを設けてほしい
- ・市の無料講座を増やしてほしい
- ・転入時に市内の地図がほしい

<転出者アンケート>

- ・自然が豊かでとても住みやすかった。子育て環境がよかった。図書館がよい。
- ・良い町だった。本当は転出したくない。また戻ってきたい。
- ・住民税、水道料金が高い
- ・子どもにとって住みやすいまち、子育てしやすいまちにしてほしい
- ・高齢化対策を充実させるべき
- ・経済に力を入れるべき
- ・公共建築の無駄を削減してほしい
- ・子育てを考えたとき、より充実したまちに移住することにした
- ・大型ショッピングセンターの誘致、カラオケ、ボーリング等の娯楽施設が少ない
- ・コンビニ交付を実施してほしい
- ・公共交通を充実してほしい
- ・街灯が少なく夜道が危ない場所がある
- ・手頃な値段の住宅がなかった